

# 皮膚科学

責任者・コーディネーター		皮膚科学講座 天野 博雄 教授		
担当講座・学科（分野）		皮膚科学講座		
担当教員		天野 博雄 教授、森 康記 客員准教授、馬場 俊右 講師、大西 正純 講師、渡部 大輔 講師、石川 治 非常勤講師、吉田 亜希 非常勤講師、玉井 克人 非常勤講師、中川 秀己 非常勤講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義	16コマ 24.0時間
期間	前期		演習	0コマ 0.0時間
			実習	0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

皮膚、皮膚粘膜移行部、粘膜は内臓と外的環境の境界となる部位である。内臓の異常、あるいは外的環境や刺激が発疹となって表れる。皮膚科学では発疹の性状・分布等を分析し、そこで生じている病態を理解することにより、発疹の誘因となった外的環境や内臓障害を推察する。すなわち、発疹を診て病理学的変化や病態を考え、適切な治療と予防を行う学問である。

## ・教育成果（アウトカム）

皮膚科学の講義を通じて、発疹の診方とその病態、検査法、診断手順、治療法と予防法を修得することで、将来医師としてあるいは医学者として必要な皮膚疾患に関する知識を得て適切な医療について説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 ）

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	皮膚の基本的構造と生理学的特性および皮膚免疫機能を述べ、その異常による疾患について説明できる。
2	皮膚科診断学、発疹学、皮膚科検査法の種類とその手技を説明することができる。また、皮膚科治療法(外用療法、内服療法、光線療法)を説明できる。
3	湿疹皮膚炎群、蕁麻疹・痒疹とアナフィラキシーの病態、その診断法と治療法について説明できる。
4	紅斑症、紅皮症、薬疹、GVHDと病態、その診断と治療法について説明できる。
5	紫斑と血管炎および皮膚脈管異常の皮膚症状の特徴について説明し、その診断法と治療法について説明できる。
6	膠原病とその類縁疾患の皮膚症状および免疫機構との関わりについて説明し、その診断法と治療法について説明できる。
7	紫外線を含む皮膚の物理・化学障害および光線性皮膚障害について説明し、その治療法と予防法について説明できる。
8	表皮の接着構造と水疱症の関わり、膿疱症の種類と病態について説明し、その診断法と治療法について説明できる。
9	代謝異常、メラニン生成機序からみた色素異常症について説明し、その治療法と予防法について説明できる。
10	表皮の角化機序と意義を説明し、先天性および後天性角化異常症の種類と病態、その診断法と治療法について説明できる。
11	先天性表皮水疱症など皮膚難治性疾患の病態と再生医療の関わりを説明できる。
12	良性皮膚腫瘍、皮膚奇形、母斑症の病態を説明し、その診断と治療法について説明できる。
13	悪性皮膚腫瘍および皮膚リンパ腫の病態を説明し、その診断と治療法について説明できる。
14	皮膚の感染防御機構と、ウイルス性および細菌性皮膚感染症による皮膚病変の病態を説明し、その診断と治療法について説明できる。
15	皮膚抗酸菌症、真菌性感染症、性病と節足動物による皮膚障害の病態を説明し、その診断と治療法について説明できる。
16	皮膚附属器疾患、脂腺・毛髪疾患、肉芽腫性疾患の病態を説明し、その診断と治療法について説明できる。

・講義場所

講義：東1-D講義室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	目標番号
講義	3/30(火)	1	皮膚科学講座	馬場 俊右 講師	巧みな皮膚の構造と機能	1,2
講義	3/30(火)	2	皮膚科学講座	馬場 俊右 講師	発疹の診方、皮膚疾患の検査方法、治療方法	1,2,3,14,15,16
講義	4/6(火)	1	皮膚科学講座	大西 正純 講師	皮膚悪性腫瘍の病態と診断	13
講義	4/6(火)	2	皮膚科学講座	森 康記 客員准教授	薬疹、紅斑を生じる疾患	4
講義	4/13(火)	1	皮膚科学講座	森 康記 客員准教授	皮膚真菌症、皮膚抗酸菌症、性感染症、虫による皮膚疾患	15
講義	4/13(火)	2	皮膚科学講座	渡部 大輔 講師	感染症の発疹を見逃さない	14
講義	4/20(火)	1	皮膚科学講座	馬場 俊右 講師	皮膚付属器と真皮の疾患	12,16
講義	4/20(火)	2	皮膚科学講座	馬場 俊右 講師	血管及びリンパ管の疾患	5
講義	5/11(火)	1	皮膚科学講座	石川 治 非常勤講師	膠原病の皮膚症状	6
講義	5/11(火)	2	皮膚科学講座	大西 正純 講師	物理的皮膚障害の病態と治療戦略	7
講義	5/18(火)	1	皮膚科学講座	渡部 大輔 講師	母斑症は皮膚と内臓の奇形の表現型である	12
講義	5/18(火)	2	皮膚科学講座	吉田 亜希 非常勤講師	メラニンや微量元素・蛋白の異常は色素異常症や皮膚の代謝異常症を生じる	9
講義	5/25(火)	1	皮膚科学講座	玉井 克人 非常勤講師	遺伝性水疱症の病態と治療	1,2,8,11
講義	5/25(火)	2	皮膚科学講座	天野 博雄 教授	水疱症は表皮細胞接着分子の自己免疫疾患である	1,2,8
講義	6/1(火)	1	皮膚科学講座	中川 秀己 非常勤講師	炎症性角化症、遺伝性角化症	10
講義	6/1(火)	2	皮膚科学講座	天野 博雄 教授	湿疹皮膚炎は表皮のバリア異常と免疫反応による	2,3

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	皮膚科カラーアトラス第3版 臨床像と組織像	石川 治 編著	中外医学社	2017
推薦図書	新しい皮膚科学	清水 宏 著	中山書店	2018
推薦図書	皮膚病アトラス 5版	西山茂夫 著	文光堂	2004

・成績評価方法

総括評価：試験成績により評価する。  
 形成的評価：講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

- 1.巧みな皮膚の構造と機能 1回
- 2.発疹の診方が正しい診断と治療を導く 1回
- 3.湿疹皮膚炎は表皮のバリア異常と免疫反応による 1回
- 4.内臓疾患や薬剤の影響で紅斑症が生じる1回
- 5.皮膚脈管系の巧みな働きと障害1回
- 6.皮膚病変から膠原病を診断する1回
- 7.物理的皮膚障害の病態と治療戦略1回
- 8.水疱症は表皮細胞接着分子の自己免疫疾患である 1回
- 9.メラニンや微量元素・蛋白の異常は色素異常症や皮膚の代謝異常症を生じる1回
- 10.遺伝性角化異常はケラチン蛋白の異常発現で、炎症性角化症はサイトカイン異常分泌で生じる1回
- 11.難病治療への挑戦：皮膚再生医療の新しい展開1回
- 12.皮膚付属器と真皮の巧妙な構造と役割1回
- 13.母斑症は皮膚と内臓の奇形の表現型である 1回
- 14.見逃してはならない皮膚悪性腫瘍の診断と治療1回
- 15.感染症の発疹を見逃すな1回
- 16.稀だが重要な皮膚真菌症・抗酸菌症・性病・虫による皮膚病1回

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書、参考書、講義にはPCによるスライドを用いる。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコンー式 iMac MD093J/A	1	講義用スライド作製
講義	パソコンー式 M9249J/A	1	講義用スライド作製
講義	ノートパソコンー式LIFEBOOK AH43/D3	1	講義用スライド作製
講義	デジタル一眼レフカメラEOS-10D	1	講義用写真
講義	一眼レフ対応ダーマフォトモジュールセット	1	講義用写真